

町政懇談会の記録

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
1	北川原	R7. 11. 14	02道路・交通・建物	グレーチングの点検	暗渠部分のグレーチングについて、下のコンクリートが傷んでガタガタなどところがないか心配である。全体のグレーチングの点検をしてほしい。	まちづくり課	貴重な御意見をありがとうございます。 暗渠部分のグレーチングについては、設置数が膨大であり、全てのグレーチングを点検することは難しい状況です。 そのため、職員による日常点検のほか、住民の皆様による通報がありましたら、速やかに現場を確認し、補修等の対応をまいります。 今後も、地域の皆様が安全に通行していただけますよう、適切に維持管理をまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。
2	北川原	R7. 11. 14	08農業	農業の担い手	担い手活動として、里芋を作っている。地域の住民や仲間をよんで、芋ほりを一緒にしているが、農家の担い手が少なくなってきたことについて、どう考えているか。	産業課	農業の担い手確保は、町の農業振興を進める上での喫緊の課題であると認識しています。 本町では、松山市農協が大間地区の研修圃場で実施している就農候補者研修事業への支援や、愛媛県伊予農業指導班と連携した新規就農者の相談体制の整備を行うなど、担い手育成に取り組んでいます。 一方で、担い手の新規参入を促進するためには、農地の集約化が極めて重要です。現状のように農地が小規模かつ分散している状況では、安定した農業経営の確立が難しく、結果として担い手の確保・定着を阻害する要因となっています。このため、農地を集約し、経営規模の拡大と営農効率化を図ることで、就農希望者が参入しやすい環境づくりを進めていく必要があります。 現在、国においては「農業構造転換集中対策期間」を設定し、農地の大区画化などの構造転換を強力に推進しており、本町としても国の制度の動向を注視しつつ、実情に応じた取組を進めてまいります。
3	北川原	R7. 11. 14	02道路・交通・建物	カーブミラーの設置	家が3軒（西高柳）できたので、カーブミラーをつけてほしいと危機管理課に行ったが、家が10軒ぐらないとつかないといわれた。そういった規程があるのか。また、橋につける際は、まちづくり課にも許可をもらわないといけないといわれた。2つの課にそれぞれ申請しないといけないのか。	危機管理課 まちづくり課	カーブミラーの設置に関しては、「松前町道路反射鏡設置要綱」により設置基準を設けております。（袋路状道路に関しては、居住する家屋が10戸以上の場合に限る基準があります。） そのため、御質問のありました「家が3軒」の場合は、優先順位は低くなります。 また、まちづくり課への設置協議や申請などの手続きにつきましては、危機管理課が一括して行いますので、要望者の方がまちづくり課へ個別に申請していただく必要はありません。 町としては、できる限り地域の要望に応えられるよう努めてまいりますので、御理解をお願いいたします。
4	北川原	R7. 11. 14	12その他	地域コミュニティ	地域でイベントをやっても人が集まらない。集まる機会が少なくなったら、両隣ぐらいの人しか顔を知らなくなる。強制参加はなかなか難しいが、北川原としては、現在やっている行事はやりたい。 また、愛護部に入らない親御さんも増えており、困っている。	町民課	地域イベントの運営については、町としても大きな課題であると認識しております。 地域のイベントは、地域コミュニティ存続のため、また子どもたちのためでもあるので、続けてほしいと思います。イベントを一度やめてしまうと、復活するためには一緒に先導してくれる仲間を集めて、少し強引にでもやりきらないと、難しいです。なお、強制参加ではなく、「自由参加で、来てくれるなら歓迎する」という姿勢ですすめる必要があります。 また、愛護部などの加入については、組長など役職のある人が説明に行くのではなく、できるだけ年齢層が近い人が行って、説明をすると安心される場合もあるようです。 現在は、各御家庭、夫婦ともに忙しくなっているので、女性にこだわらず、男性もどんどん参加をしていくことが必要だと思います。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
5	北川原	R7. 11. 14	06学校	にこまるの給食提供	エコ栽培のにこまるを作っているが、給食に使ってもらいたい。以前は給食で使ってもらっていたが、なぜかなくなった。	学校教育課 産業課	松前町学校給食センターでは、学校給食に安全安心な地場産物を活用する取組を積極的に進めており、現在、学校給食で使用している米は、供給可能な範囲で松前町産にこまる（一般米）を使用しています。 御指摘のとおり、過去に産業課が地産地消事業として実施していた補助金を活用して、減農薬栽培の「にこまる」を使用していたことがありましたが、必要量を確保することが難しく、普通栽培でも安全性には問題がないことから、現在は普通栽培のものを使用しています。 学校給食は、定められた給食費用の範囲で運営しており、特別栽培の農産物の使用は供給量の確保や価格の面で制限がありますが、これらの課題がクリアできれば使用を検討したいと思います。
6	北川原	R7. 11. 14	12その他	愛護部連絡協議会	岡田地区連絡協議会に入っているが、抜きたい地区もいると聞いた。連絡協議会が残っているのも、岡田地区のみであると聞いている。連絡協議会が行事の報告のみであれば、する必要がないのかなという話も出てきた。	社会教育課	日頃から愛護部活動を通じ子どもの健全育成に御尽力いただきありがとうございます。 愛護部連絡協議会の役員会が負担になるということから、一部地区で愛護部連絡協議会からの脱退を検討されているということは承知しております。 愛護活動の原点は、地域の保護者等が中心となり地域の大人が地域の子どもたちの健全育成を願って自主的に行う活動であり、住民相互のコミュニケーションを通じて地域全体の意識を高め、共生の精神を育んでいくという大切な役割を果たしていく崇高な意義をもっていると思います。 町として、岡田校区愛護部連絡協議会にとって最適な運営方法を導き出すことが重要であると考えます。運営がより円滑に進むよう意見交換を行いながら支援に努めてまいりたいと考えていますので、これらのことを考慮いただき、無理のない範囲で運営を継続していただければありがたく思います。
7	北川原	R7. 11. 14	10広報活動	広報紙配布委託	役員が広報紙を配布するが、高齢だと負担である。広報紙の配布委託は、どうなったか。	総務課	年度末配布の4月号までは、お手数ですが配布いただくようになります。令和8年度から、北川原は広報紙の配布委託を希望されているので、委託をすすめて、負担が軽減されるようにしたいと考えています。